

2年 7組 3班の活動報告です。 小野綾子 平松莉里花 岡野美乃梨 生田光 楠田佐知 井上大和

◇ 研究テーマ「フードマイレージ」

日本は他の先進国と比べ、フードマイレージが大きく、輸送などで多くのエネルギーを排出している。地球温暖化が問題となっている中で私たちにできることは何かを考えた。

【関連するSDGs (アイコン)】



◇ 実践したこと (フィールドワークなどで調べて分かったこと)

普段の食事と地産地消を意識した食事のフードマイレージを計算し、比べた。例えば、肉じゃが一食分を作るとして1回目は産地を気にしないで食材を購入し、2回目は地元で作られた食材を購入し調理をした。1回目に作った肉じゃがと2回目に作った肉じゃがのフードマイレージを計算し差を出すと、2つの食事のフードマイレージには大きな差があることが分かった。

◇ 提案

普段の食事でもなるべく地元の食材を使うことで環境への負担が減ると考えた。地産地消を意識する人を増やすために道の駅など地元のお店にポップを置き、その食材の魅力やその食材のレシピなどを書いておくことで手に取りやすくなると考えた。

◇ 活動を通じて考えたこと

- ・一人一人の食事への意識が積み重なることで大きなエネルギー削減につながるとわかった。
- ・遠い国からの輸入は環境に悪影響を及ぼすし、いつ食料が無くなるかわからないので、食料自給率をあげることが日本の一番の課題だと思った。
- ・日本は他の国と比べて、フードマイレージが多いことを知って、今まで意識していなかった食材の選択も大事になってくると思った。
- ・フードマイレージを意識するうえで地産地消が大切だとわかったので、普段の生活でも地産地消を意識して生活したい。
 - ・今まであまり意識していなかった地産地消について考えることができたし、フードマイレージという指標について知ることができた。
 - ・なんとなくしか知らなかったフードマイレージについてこの探究活動を通して詳しく知れてよかった。